

(4) 様式 4_助成事業実施報告書

2018年7月18日

助成事業実施報告書

団体名 NPO法人 ホカテハウス
代表者・役職名 氏名 新 康彦

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

空調設備事業

2. 実施団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

2010年3月任意団体「ホカテハウス」設立。少年院退所者12名に寄り添う。2011年11月NPO法人格取得。2014年4月介護等デイサービス「ホカテホーム」、2015年7月京都市生涯支援事業所「ホカテアトリ」、2017年4月自立支援チーム「カリス・ホーム」設立。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

2017年4月設立時、予算の都合で空調設備の整っていない。夏目の暑さを迎える。空調設備の不平等解消。身場の体調管理。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

空調設備工事。
1階:3部屋。3階:3部屋の計6室にエアコンを取付け。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

入所者9名の体調管理が良好である。何よりも設備の平等化ができた。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

未だ設置出来ていない部屋と故障している共有部分がある。特に共有部分は、大型空調が必要である。

7. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし

